

2023年3月期 決算概要

2023年5月15日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ FY22実績

- 売上収益・営業利益ともに過去最高。当期利益も増益
- 売上収益は米州が成長牽引、全社で+5%伸長（為替影響除く）
- 利益はQ4で一時的に悪化。2月に発表した業績予想は未達

■ FY23業績予想

- グローバルで成長継続、売上収益は+6%伸長（為替影響除く）
- 高収益品の拡大等により、営業利益は二桁伸長

P&L実績

■ 売上収益：過去最高。米国を中心にグローバルで心臓血管領域の強い需要が継続

■ 営業利益：過去最高も、原材料価格高騰やQ4での一時費用負担が重く収益性悪化

金額（億円）	FY21 Q4累計	FY22 Q4累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	7,033	8,202	17%	5%
売上総利益 (%)	3,693 (52.5%)	4,174 (50.9%)	13%	2%
一般管理費 (%)	1,991 (28.3%)	2,383 (29.1%)	20%	7%
研究開発費 (%)	518 (7.4%)	616 (7.5%)	19%	7%
その他収益費用	-25	-2	-	-
営業利益 (%)	1,160 (16.5%)	1,173 (14.3%)	1%	-5%
調整後営業利益 (%)	1,344 (19.1%)	1,380 (16.8%)	3%	-6%
税引前利益 (%)	1,145 (16.3%)	1,161 (14.2%)	1%	
当期利益 (%)	888 (12.6%)	893 (10.9%)	1%	

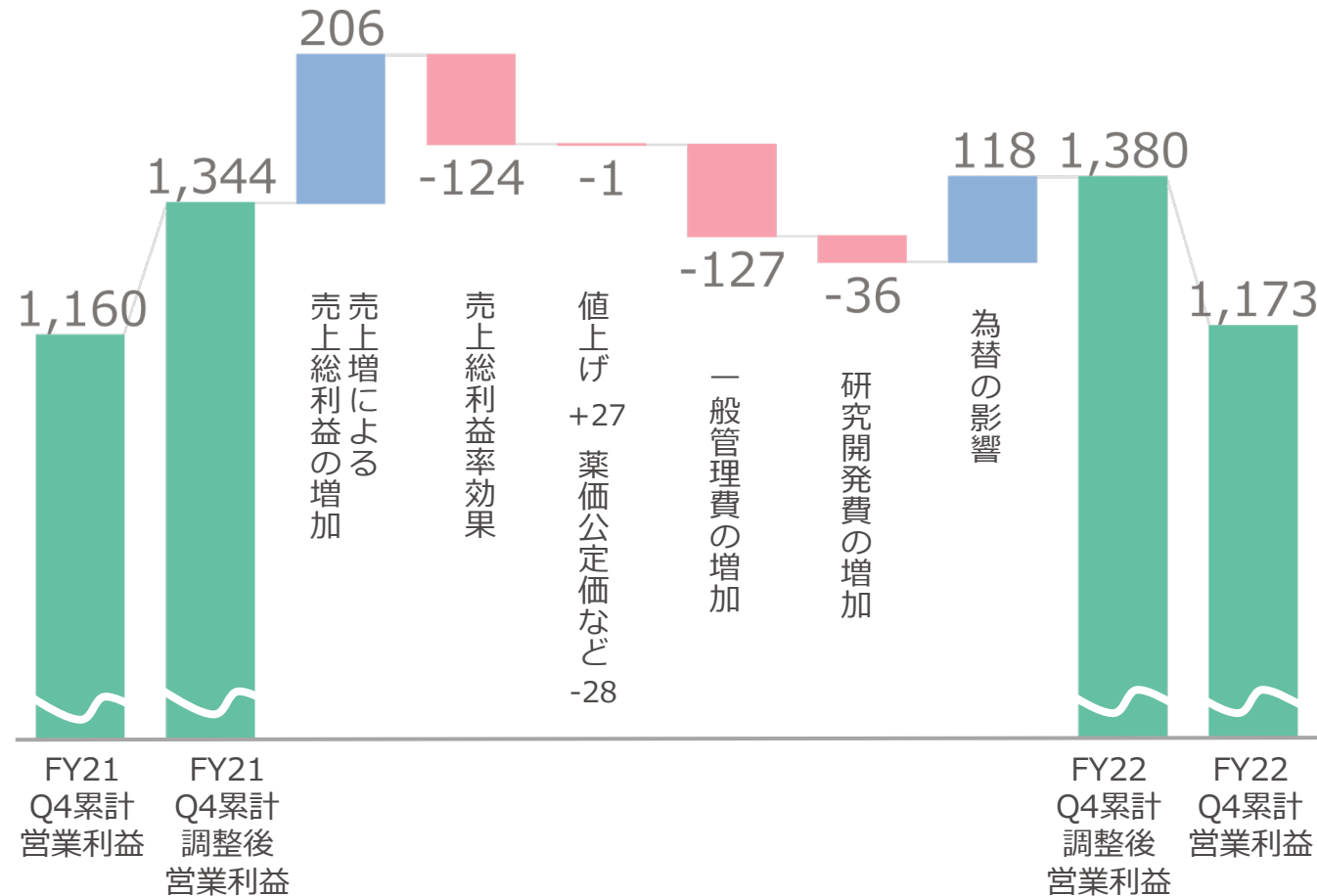
期中平均レート(USD/EUR) 112円/131円 135円/141円

FY21 Q4	FY22 Q4	増減率
1,798	2,022	12%
905 (50.3%)	990 (49.0%)	9%
528 (29.4%)	597 (29.5%)	13%
144 (8.0%)	160 (7.9%)	11%
-18	5	-
215 (12.0%)	238 (11.8%)	11%
273 (15.2%)	284 (14.1%)	4%
215 (11.9%)	240 (11.9%)	12%
171 (9.5%)	191 (9.5%)	12%

116円/130円 132円/142円

営業利益増減分析（Q4累計）

（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
需要の増加と新製品効果による売上伸長
- 売上総利益率効果：
原材料価格高騰などが想定以上の規模で継続
- 価格：
期中に対象拡大した値上げも収益性維持には不十分
- 一般管理費・研究開発費の増加：
費用コントロールを継続。成長領域への投資は実施
- 為替の影響：
円安による大きなプラス影響

業績予想（2月発表）利益未達要因

	(億円)	全社	C&V	TMCS	TBCT
業績予想	売上	8,150	4,752	1,933	1,463
	AOP	1,430	1,115	171	151
	%	17.5%	23.5%	8.8%	10.3%
	OP	1,220	-	-	-
	%	15.0%	-	-	-
実績	売上	8,202	4,806	1,917	1,476
	AOP	1,380	1,122	148	112
	%	16.8%	23.3%	7.7%	7.6%
	OP	1,173	-	-	-
	%	14.3%	-	-	-
差額（為替除く）	売上	6	17	-13	3
	AOP	-55	1	-23	-39
	%	-	-	-	-
	OP	-52	-	-	-
	%	-	-	-	-

収益悪化の一時的要因

TBCT

- 血漿イノベーション（PI）限定上市期間の長期化
物量未達による固定費負担増
- 受注残解消・コストリカ生産移管のためのコスト
エアフレート利用増や複雑化したSC対応費用
- EOG滅菌訴訟対策（米国）
弁護士費用（FY23予想にも織り込み済み）

TMCS

- 製品出荷の翌期繰り越し
CDMO製品
- コロナ終息に伴う関連製品の在庫調整

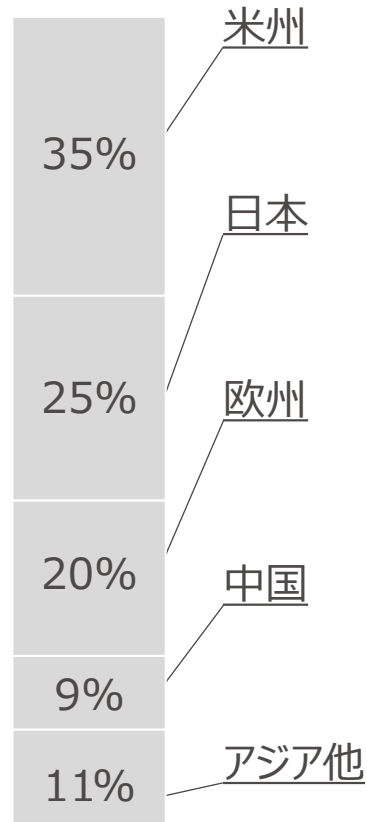
C&V

- コスタリカ生産移管のためのコスト
移管元の生産継続

地域別売上収益

C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー
TIS: 血管内治療システム、CV: カーディオバスキュラー、TA: テルモアオルティック（血管）、PS: ファーマシューティカルソリューション

FY22 Q4累計
地域構成比



売上収益（億円）			FY22 Q4累計 増減率	コメント
	Q4累計	Q4	() 内は為替影響除く	
FY20	1,808	497	30% (9%)	全カンパニーが伸長を継続。TA、ニューロ、血液センターが為替除きで二桁成長、TISも好調
FY21	2,204	592		
FY22	2,866	742		

	2,018	534	1%	伸長を維持。新製品が寄与し、PSやTAが牽引
	2,061	511		
FY22	2,074	503		

	1,204	328	14% (5%)	TIS、TA、血液センター、PSが伸びて全カンパニーが伸長
	1,404	364		
FY22	1,600	414		

	455	121	21% (7%)	コロナによる影響も3月には回復。売上構成比6割のTISが牽引
	594	147		
FY22	719	153		

	654	172	22% (9%)	TIS、CV、TA、血液センターが為替除きで二桁成長
	770	184		
FY22	943	209		

C&V: 需要拡大と新製品効果により成長を継続。利益も順調に推移

(億円)

Q4累計			Q4			コメント		Q4累計 売上増減
() 内は為替影響除く								
3,2853,9714,806 21% (7%)			9011,0271,217 18%			TIS : グローバルで需要復調。 治療領域では新製品の加わったPTCAガイドワイヤーや 末梢塞栓デバイス、アクセスではクロージャーデバイスや シースの売上が拡大		+554
7449321,122 20% (2%)			184209286 37%			ニューロ : 市場成長の波に乗り、米州を中心に海外が牽引 CV : 需要回復の早い海外が堅調。日本も回復の兆し TA : 累計伸長率は30%に迫る。ステントグラフトと オープンスtentグラフトがグローバルで順調に拡大		+128 +71 +81
FY20	FY21	FY22	FY20	FY21	FY22	利益 : 高収益品の売上拡大により順調に推移		
23%	23%	23%	20%	20%	23%			

TMCS:

PSは高成長継続

利益は原材料価格や動力費の高騰、Q4では一時的要因も重なり減益

(億円)

Q4累計			Q4			コメント		Q4累計 売上増減	
() 内は為替影響除く									
売上収益	1,755	1,853	1,917				HCS ホスピタルケア ソリューション：	日本では感染対策製品の需要が一巡するも、 癒着防止剤やプレフィルドシリンジ新製品が 拡大。海外は二桁成長	+18
			3% (0%)				LCS ライフケア ソリューション：	競争が激化した自己血糖測定器、需要が一 巡した体温計・血圧計が減速	-20
				465	466	462			
						-1%	PS ファーマシューティカル ソリューション：	二桁成長継続。日本におけるCDMO事業と 海外中心の容器ビジネスや薬剤用キット製 品がいずれも伸長	+66

利益							利益	：	原材料価格や動力費の高騰、中国元高によ る仕入価格増、Q4には翌期への出荷繰り越 しや感染対策製品の在庫調整などもあり減益

TBCT:

血液センター向けビジネスを中心に既存事業は引き続き好調
PIは限定上市期間の長期化に伴い固定費負担増

(億円)

	Q4累計	Q4	コメント	Q4累計 売上増減
売上収益	() 内は為替影響除く			
	1,095	1,206	血液センター :	+205
			海外の成分採血キットや全血採血における 自動化イノベーションの売上が引き続き増加	
			22% (8%)	
セグメント 利益	191	208	アフエリス治療 :	+58
			血漿交換療法や造血幹細胞採取を用いる 症例数増加による売上拡大	
			-46% (-43%)	
			細胞処理 :	+6
利益率			細胞治療の持続的成長による堅調な需要	
			285	
			304	
			12%	
利益	47	37	利益 :	
			原材料価格高騰やPIの固定費負担増に 加えて、コストリカへの生産移管コストなども 重なり減益	
			-18	
FY20	17%	17%		
FY21	16%	12%		
FY22	8%	-5%		

FY23業績予想

- 売上収益：心臓血管を中心に成長を継続し、+6%伸長（為替影響除く）
- 営業利益：高収益品の売上拡大や収益性改善策のさらなる強化により二桁伸長

（ ）内は為替影響除く

金額（億円）	FY22実績	FY23業績予想	増減率
売上収益	8,202	8,540	4% (6%)
営業利益	1,173	1,325	13% (12%)
(%)	14.3%	15.5%	
調整後営業利益	1,380	1,510	9% (11%)
(%)	16.8%	17.7%	
当期利益	893	1,010	13%

為替レート(USD/EUR)

135円/141円

130円/145円

（ ）内は為替影響除く

FY23業績予想 カンパニー別（億円）	売上収益		調整後営業利益		調整後 営業利益%
	金額	増減率	金額	増減率	
C&V	5,038	5% (7%)	1,205	7%	24%
TMCS	2,000	4% (5%)	205	38%	10%
TBCT	1,500	2% (4%)	125	12%	8%

FY23 収益改善策

1. 高収益品の増収による利益増

- TISやニューロ、TAで高成長を維持し、C&Vで7%伸長
- TMCSはCDMO事業が成長牽引

2. 価格政策の更なる積極化

- 価格転嫁する事業・地域のスコープ拡大
- 国内低収益品の薬価改定

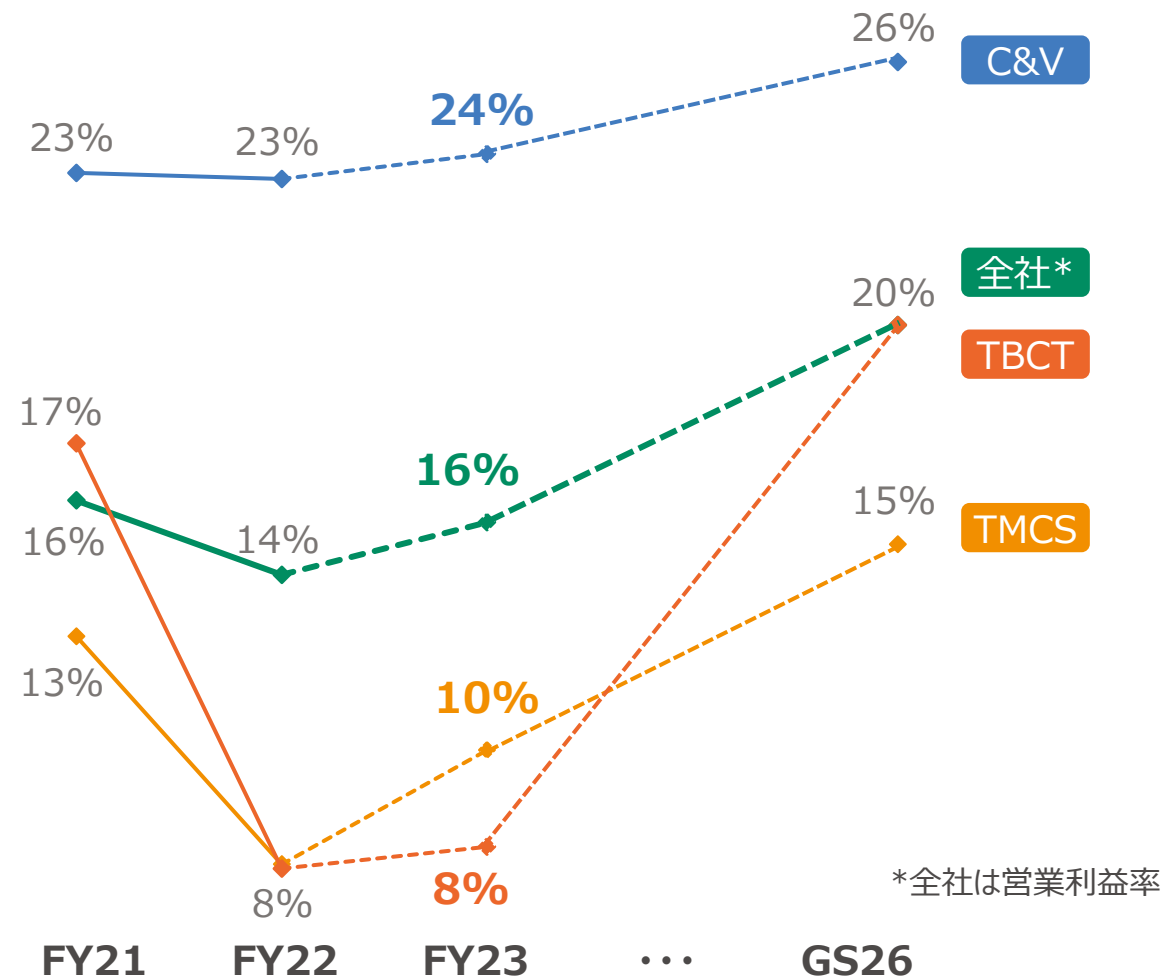
3. グローバル生産最適化・効率化

- コスタリカへの生産移管効果刈り取り
- 愛鷹工場の自動化・省力化

過年度一時費用の一巡

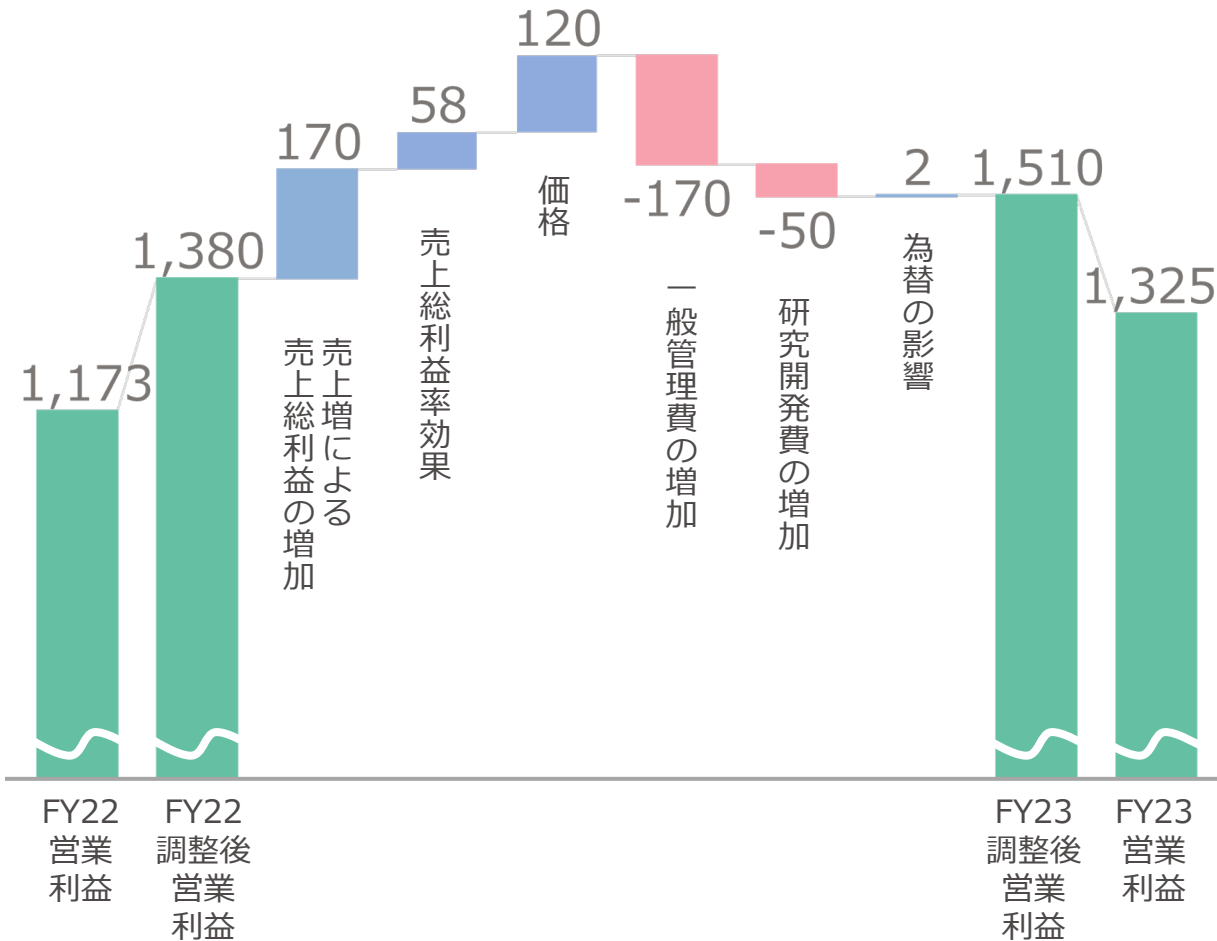
- 受注残解消（航空便利用頻度を軽減）
- PI本格上市へ（固定費負担軽減）

FY21～GS26 調整後営業利益率の推移



FY23 業績予想 利益増減要因

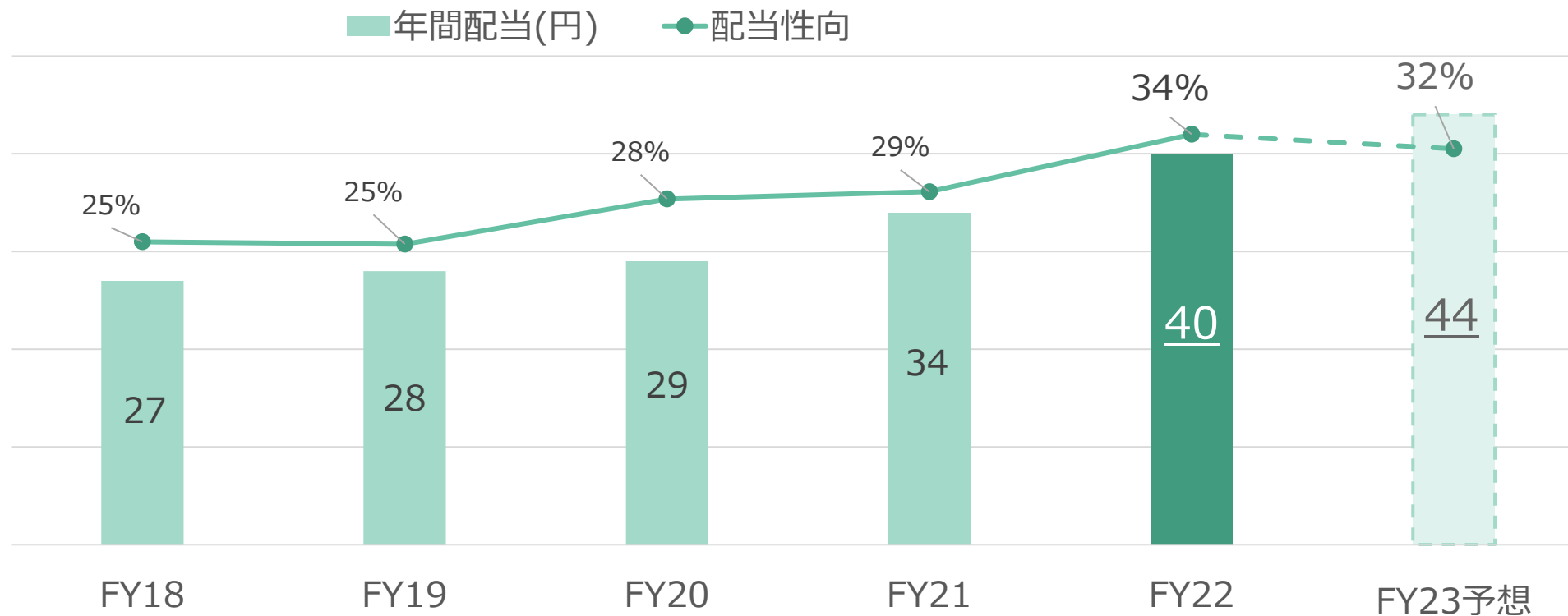
(億円)



- 売上増による売上総利益の増加：
心臓血管を中心に成長を継続
- 売上総利益率効果：
高収益品の増収と、グローバル生産最適化・効率化
- 価格：
価格政策の更なる積極化。低収益品の薬価改定を含む
- 一般管理費の増加：
成長領域への費用投下継続
- 研究開発費の増加：
将来成長に向けた開発投資継続
- 為替の影響：
円安効果一巡の想定

配当案：還元方針に基づき増配継続

- 還元方針：安定増配を継続し、GS26内に総還元性向50%水準を目指す
- FY22は500億円の自己株取得により、総還元性向90%



FY18は19年4月の株式分割（1株→2株）影響を考慮

参考資料

売上明細（地域別・事業別）

2022年度 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for FY2022

(百万円 / millions of yen)

		FY2021							FY2022														構成比 % to total
		日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others	合計 WW	日本 JPN	%YoY	海外 Overseas	%YoY	欧州 Europe	%YoY	米州 Americas	%YoY	中国 China	%YoY	アジア他 Asia and others	%YoY	合計 WW	%YoY	
心臓血管 カンパニー	TIS	32,110	231,837	63,185	105,515	36,048	27,088	263,947	32,288	0.6%	287,108	23.8%	72,477	14.7%	136,360	29.2%	43,593	20.9%	34,676	28.0%	319,396	21.0%	38.9%
	ニューロバスキュラー	5,446	52,708	16,564	22,441	9,355	4,346	58,155	5,627	3.3%	65,288	23.9%	18,761	13.3%	30,038	33.9%	11,592	23.9%	4,896	12.7%	70,915	21.9%	8.6%
	カーディオバスキュラー	10,806	36,543	6,334	23,114	2,001	5,093	47,350	10,404	-3.7%	44,085	20.6%	6,712	6.0%	28,389	22.8%	2,198	9.8%	6,783	33.2%	54,489	15.1%	6.6%
	血管	2,780	24,896	13,712	8,498	1,536	1,148	27,677	3,580	28.7%	32,227	29.4%	15,918	16.1%	13,179	55.1%	1,611	4.9%	1,518	32.2%	35,807	29.4%	4.4%
Cardiac and Vascular Company		51,144	345,986	99,796	159,570	48,942	37,677	397,130	51,900	1.5%	428,709	23.9%	113,869	14.1%	207,967	30.3%	58,996	20.5%	47,876	27.1%	480,610	21.0%	58.6%
メディカルケア ソリューションズ カンパニー	ホスピタルケアソリューション	100,303	27,737	2,758	7,996	1,370	15,611	128,041	98,533	-1.8%	31,261	12.7%	2,671	-3.2%	10,251	28.2%	1,979	44.4%	16,357	4.8%	129,794	1.4%	15.8%
	ライフケアソリューション	22,949	3,740	822	38	1,078	1,801	26,690	21,612	-5.8%	3,113	-16.8%	792	-3.7%	0	-100.0%	1,161	7.7%	1,159	-35.6%	24,726	-7.4%	3.0%
	ファーマシューティカルソリューション	19,482	11,121	7,481	2,573	217	849	30,603	23,355	19.9%	13,872	24.7%	8,840	18.2%	2,942	14.4%	386	77.7%	1,703	100.6%	37,228	21.6%	4.5%
Medical Care Solutions Company		142,735	42,599	11,063	10,608	2,666	18,262	185,335	143,502	0.5%	48,247	13.3%	12,304	11.2%	13,194	24.4%	3,527	32.3%	19,220	5.2%	191,749	3.5%	23.4%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	11,407	77,190	22,715	30,316	6,372	17,786	88,597	11,005	-3.5%	98,257	27.3%	25,936	14.2%	40,966	35.1%	7,770	21.9%	23,584	32.6%	109,262	23.3%	13.3%
	アフェレシス治療他	433	22,958	5,946	12,999	1,062	2,950	23,392	595	37.5%	28,581	24.5%	6,878	15.7%	17,113	31.6%	1,353	27.4%	3,256	9.7%	29,177	24.7%	3.6%
	細胞処理	171	8,424	896	6,905	306	315	8,596	137	-19.9%	9,027	7.2%	1,028	14.8%	7,538	6.3%	299	-2.5%	361	14.6%	9,165	6.6%	1.1%
Blood and Cell Technologies Company		12,012	108,573	29,558	50,221	7,741	21,052	120,586	11,738	-2.3%	135,866	25.1%	33,843	14.5%	65,418	30.3%	9,422	21.7%	27,182	29.1%	147,605	22.4%	18.0%
その他	Others	251	-	-	-	-	-	251	243	-2.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	243	-2.9%	0.0%
合計	Total	206,143	497,159	140,417	220,400	59,350	76,991	703,303	207,385	0.6%	612,823	23.3%	160,017	14.0%	286,580	30.0%	71,946	21.2%	94,279	22.5%	820,209	16.8%	100.0%
売上比率	% to Total	29.3%	70.7%	20.0%	31.3%	8.4%	10.9%	100.0%	25.3%		74.7%		19.5%		34.9%		8.8%		11.5%		100.0%		

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD1=¥112.39)
(EUR1=¥130.55)

(USD1=¥135.50)
(EUR1=¥140.99)

* 2022年度より、従来の「ホスピタルカンパニー」のセグメント名称を「メディカルケアソリューションズカンパニー」に変更しています。なお、サブセグメントにつきましては、従来の、医療器事業と医薬品事業が「ホスピタルケアソリューション」に、DM・ヘルスケア事業が「ライフケアソリューション」に、アライアンス事業が「ファーマシューティカルソリューション」に変更となっています。これに伴い、2021年度につきましても、変更後の名称で記載しています。

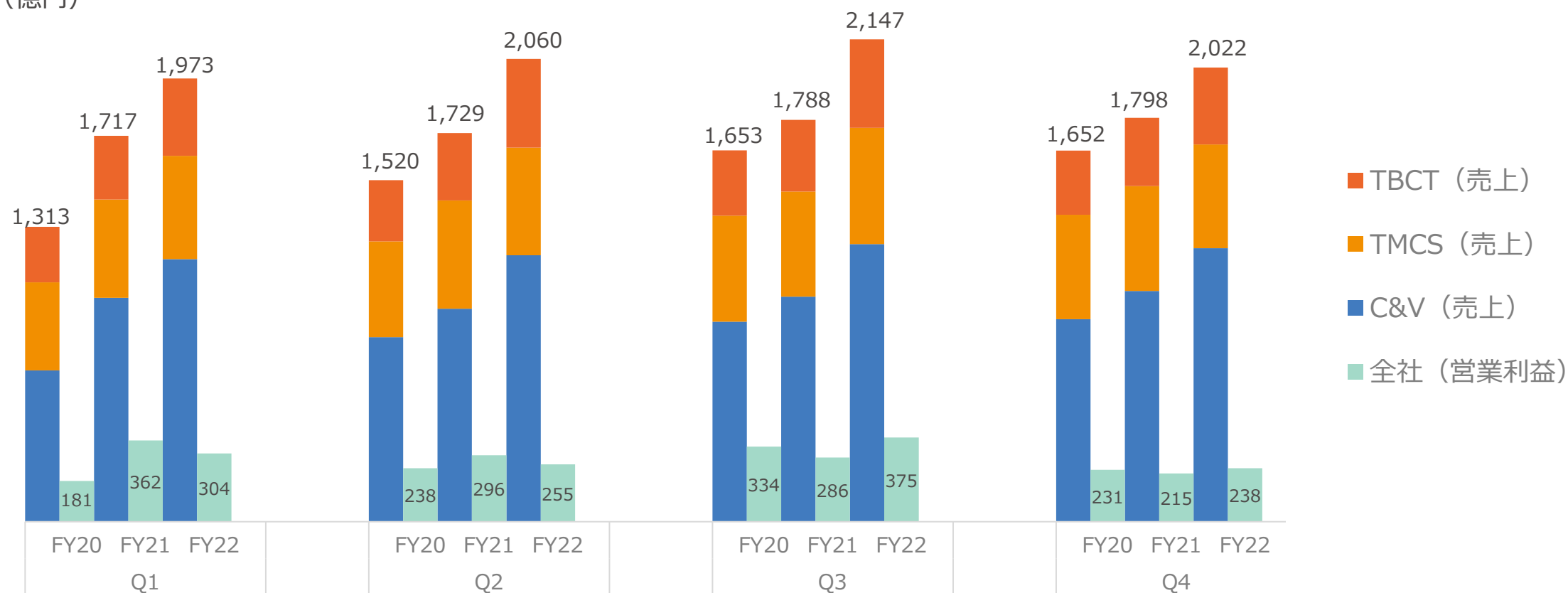
* Effective fiscal 2022, the segment name of the former "General Hospital Company" has been changed to "Medical Care Solutions Company". As for sub-segments, the former "General Hospital Products" and "Pharmaceutical" have been combined into "Hospital Care Solutions", "DM and Consumer Healthcare" has been renamed "Life Care Solutions", and the "Alliance" has been renamed "Pharmaceutical Solutions". In accordance with this change, the fiscal 2021 figure is also listed under the new names.

売上収益・営業利益の四半期推移

■ 売上収益： Q4は前同比+12%。QoQでは-6%

■ 営業利益： Q4は前同比+11%。QoQでは-37%

(億円)



P&L (四半期推移)

(億円)

	FY21 Q4 (1-3月)	FY22 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上収益	1,798	1,973	2,060	2,147	2,022
売上総利益	905 (50.3%)	1,016 (51.5%)	1,054 (51.1%)	1,114 (51.9%)	990 (49.0%)
一般管理費	528 (29.4%)	566 (28.7%)	605 (29.4%)	615 (28.6%)	597 (29.5%)
研究開発費	144 (8.0%)	141 (7.1%)	157 (7.6%)	159 (7.4%)	160 (7.9%)
その他収益費用	-18	-6	-37	35	5
営業利益	215 (12.0%)	304 (15.4%)	255 (12.4%)	375 (17.5%)	238 (11.8%)
調整後営業利益	273 (15.2%)	359 (18.2%)	345 (16.8%)	392 (18.2%)	284 (14.1%)

四半期	USD	116円	130円	138円	142円	132円
平均レート	EUR	130円	138円	139円	144円	142円

販管費（四半期推移）

（億円）

		FY21 Q4 (1-3月)	FY22 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
人件費		256	298	312	316	307
販促費		45	46	44	52	45
物流費		41	44	47	49	44
償却費		54	56	59	60	58
その他		132	123	142	138	143
一般管理費計		528	566	605	615	597
(%)		(29.4%)	(28.7%)	(29.4%)	(28.6%)	(29.5%)
研究開発費		144	141	157	159	160
(%)		(8.0%)	(7.1%)	(7.6%)	(7.4%)	(7.9%)
販管費合計		672	706	761	774	757
(%)		(37.3%)	(35.8%)	(37.0%)	(36.0%)	(37.4%)
四半期	USD	116円	130円	138円	142円	132円
平均レート	EUR	130円	138円	139円	144円	142円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY21 Q4累計	FY22 Q4累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	1,010	1,233	223	22%	7%
販促費	160	187	27	17%	8%
物流費	157	184	27	17%	7%
償却費	203	234	31	15%	8%
その他	461	545	84	18%	8%
一般管理費計	1,991	2,383	392	20%	7%
(%)	(28.3%)	(29.1%)			

研究開発費	518	616	97	19%	7%
(%)	(7.4%)	(7.5%)			

販管費合計	2,509	2,999	490	20%	7%
(%)	(35.7%)	(36.6%)			

FY21 Q4	FY22 Q4	増減	増減率
256	307	50	20%
45	45	-0	-0%
41	44	3	8%
54	58	4	8%
132	143	11	9%
528	597	69	13%
(29.4%)	(29.5%)		

144	160	16	11%
(8.0%)	(7.9%)		

672	757	86	13%
(37.3%)	(37.4%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY21 Q4累計	FY22 Q4累計	FY21 Q4	FY22 Q4
営業利益	1,160	1,173	215	238
調整① 買収無形資産の償却費	161	188	42	44
調整② 一時的な損益	24	19	16	2
調整後営業利益	1,344	1,380	273	284

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY21 Q4累計	FY22 Q4累計
事業再編費用	16	25
細胞処理事業の一部売却に関わるのれんの減損	-	36
栄養事業の事業等売却益	-	-39
その他	8	-4

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23予想
設備投資	895	772	692	758	800
償却費	477	484	532	635	675
買収無形償却費	157	146	161	188	175
それ以外	320	338	371	447	500

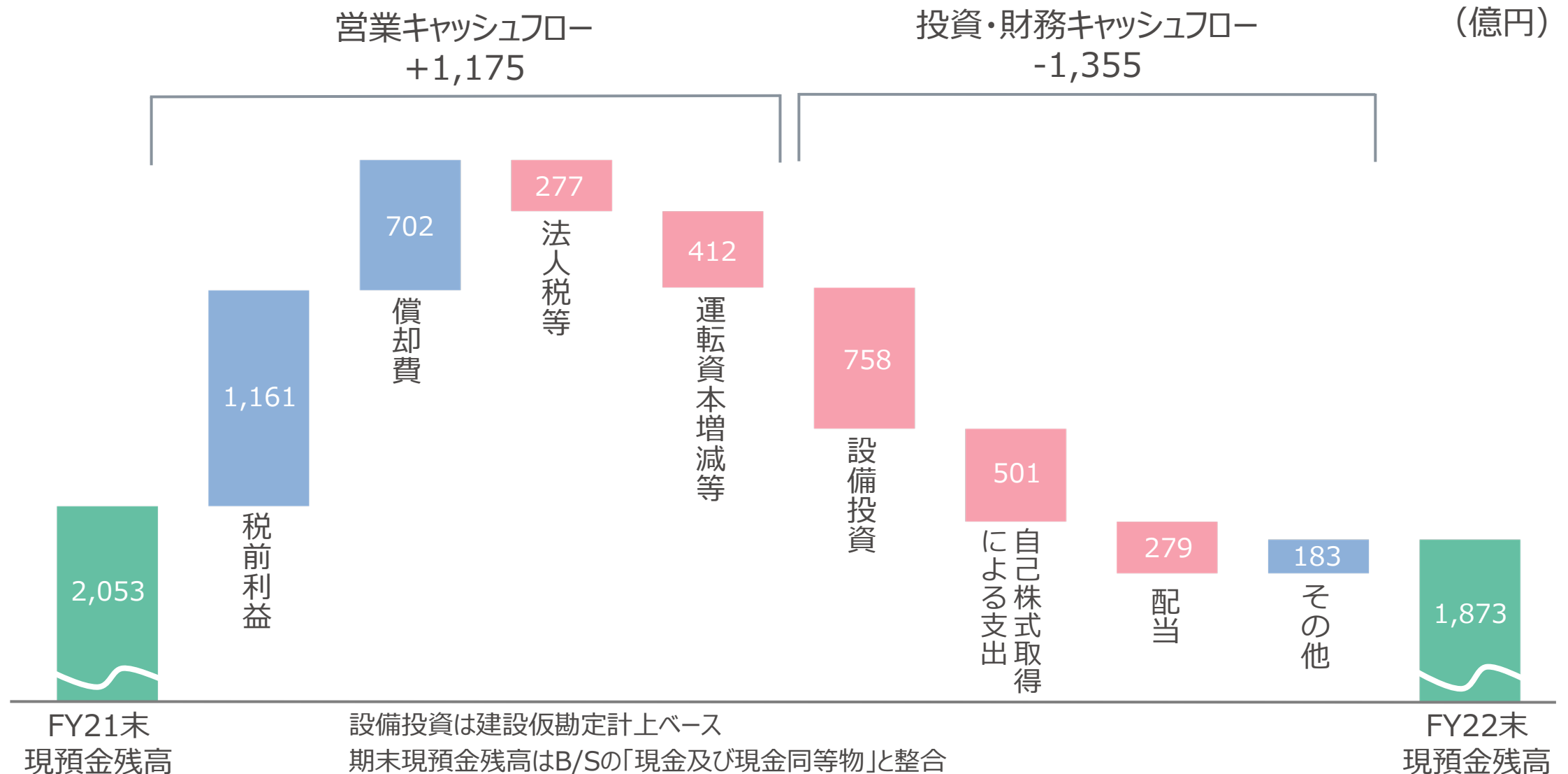
設備投資は建設仮勘定計上ベース、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

■ FY22設備投資： 主にTIS、ニューロ、PS、血液・細胞テクノロジーの増産設備、PI関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続。CDMO等生産体制強化のため、甲府工場内の新棟建設に向けた投資を開始

■ FY23設備投資： 上記案件を含めた成長投資の継続

	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23予想
研究開発費	506	491	518	616	650

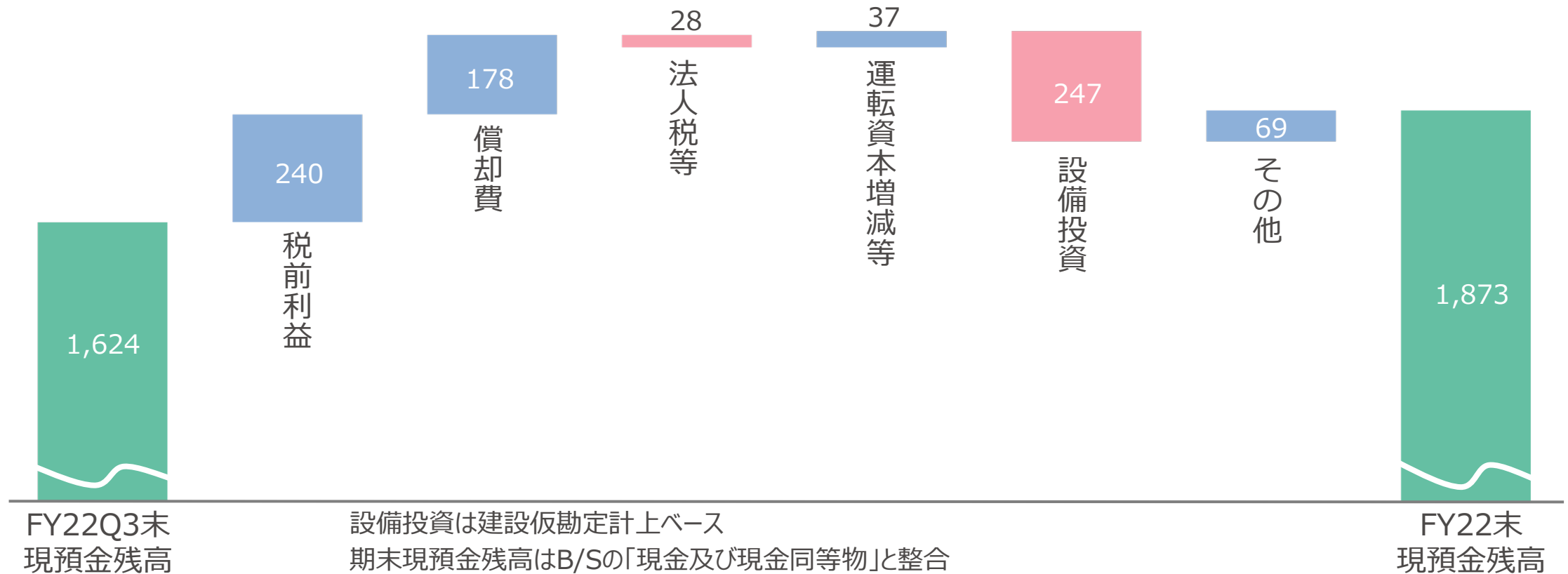
キャッシュフロー（Q4累計）



キャッシュフロー（Q4）

営業キャッシュフロー
+427

投資・財務キャッシュフロー
-177 (億円)



為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額

(億円)

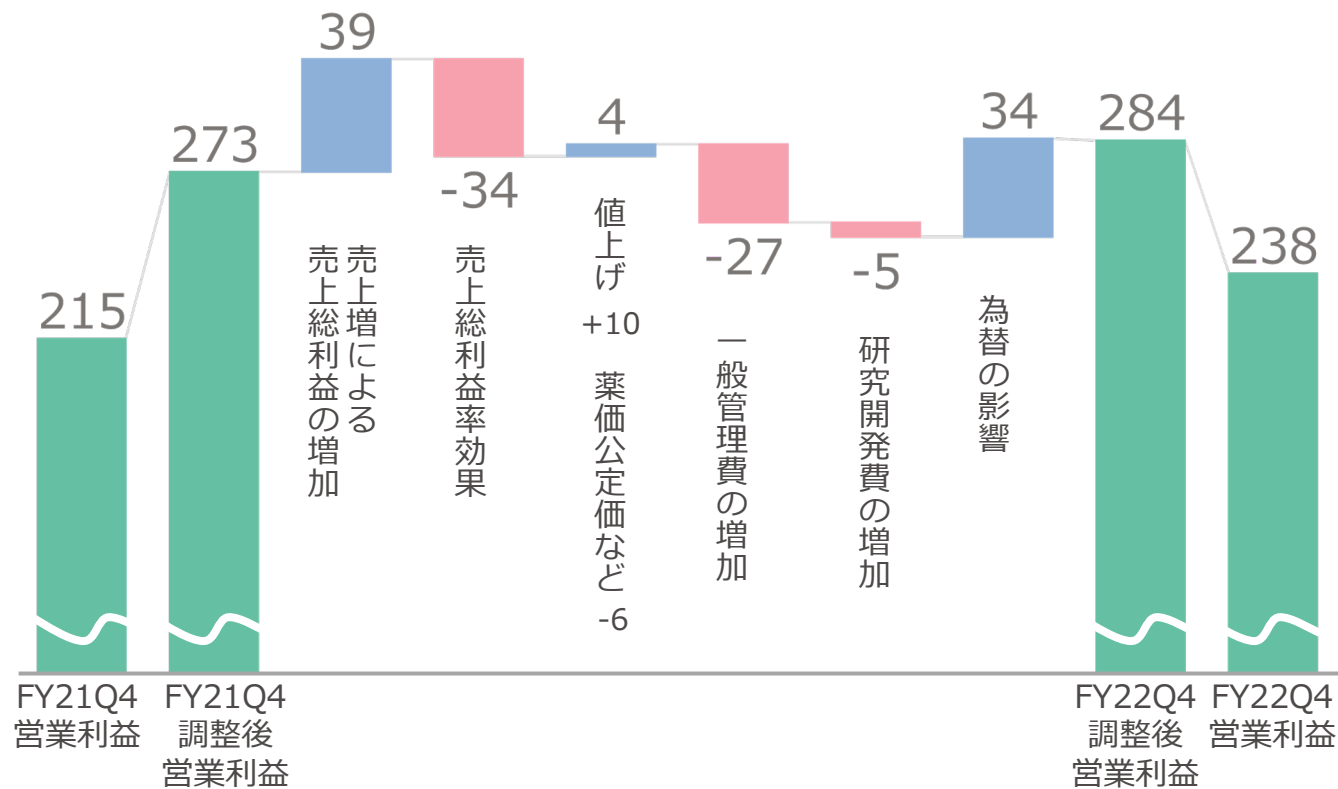
	USD	EUR	中国元
売上収益	20	9	38
調整後営業利益	1	5	16

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国	その他
調整後営業利益	7	10	74	13	31	36

営業利益増減分析 (Q4)

(億円)



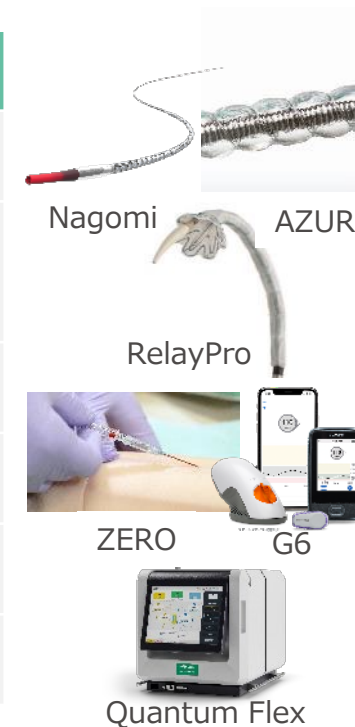
- 売上増による売上総利益の増加：
需要増と新製品効果による売上伸長
- 売上総利益率効果：
原材料費高騰などの影響と一時的要因によるマイナス
- 価格：
値上げ効果はQ3と同規模
- 一般管理費・研究開発費の増加：
費用コントロールを継続しながら必要な投資を実施
- 為替の影響：
円安によるプラス影響

製品パイプラインとトピックス

GS26 Delivery Deviceuticals Digital

主要製品の発売・適応取得状況

領域（事業）	一般名	製品名など	～FY22	FY23目標
治療（TIS）	薬剤溶出型冠動脈ステント	Ultimaster Nagomi	日本発売	欧州発売
治療（TIS）	末梢血管塞栓用コイルシステム	AZUR ファミリー	Hydro Coil、Framing Coil CX、Soft3D（日） Vascular Plug（米） 発売*	Hydro Coil CX 中国発売
ステントグラフト（TA）	胸部大動脈ステントグラフト	Relay シリーズ	RelayPro 米国発売 日本適応拡大	米国適応拡大による 売上拡大
輸液アクセス（HCS）	静脈留置針	サーフローZERO	日本発売	売上拡大
糖尿病（LCS）	連続血糖測定システム	G6	日本 保険適用追加	売上拡大
細胞処理	細胞増殖システム	Quantum Flex	グローバル発売	売上拡大



TIS: 血管内治療システム、TA: テルモアオルティック（血管）、HCS: ホスピタルケアソリューション、LCS: ライフケアソリューション
*Hydro Coil, Framing Coil、CXは中国除くグローバル発売

主なトピックス

- 役員の業績評価制度を改定：新たにESGやCSVに関するGS26の重点テーマに基づく「将来企業価値目標」を採用、その達成度を賞与支給額に反映
- DE&I推進を強化：DE&Iの重点分野を4つ選定し、今後グループ各社で活動を強化。女性活躍推進へ国内管理職比率の目標値を上方修正
- R.A.V.I. Registry：腹部カテーテル治療におけるラディアルアクセスの安全性と有効性を検証する研究結果を発表
- テルモの温室効果ガス排出削減目標が、SBTイニシアチブの「1.5℃水準」認定を取得

